

## 平成 22 年度当初予算 施策別概要

### 234 技術の高度化の促進

( 主担当部：農水商工部 )

- 23401 新分野への展開をはかる技術開発の推進 ( 農水商工部 )
- 23402 地域産業を支援するための技術開発の推進 ( 農水商工部 )
- 23403 県内企業への技術支援の推進 ( 農水商工部 )

#### < 施策の目的 >

( 対象 ) 県内企業が

( 意図 ) 研究機関の研究成果や研究基盤を活用して、新技術の開発や基盤的技術の高度化を進めている

< 施策の数値目標 > 21 年度実績値は 1 月末現在で把握できる見込み値を示しています。

施策目標項目 ( 主指標 )		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
企業で活用された研究成果件数	目標値	-	63 件	70 件	70 件	70 件
	実績値	63 件	70 件	73 件	70 件	

過去 5 年間の研究事業から生み出された研究成果のうち、次の 3 項目のいずれかに該当する  
研究成果が活用された件数 技術移転、特許等の実施許諾、研究成果の製品・商品化

県の取組目標項目 ( 副指標 )		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
技術支援件数	目標値	-	11,000 件	11,300 件	12,000 件	12,000 件
	実績値	11,859 件	13,889 件	13,481 件	10,020 件	

#### < 進捗状況 ( 現状と課題 ) >

- ・ 厳しい経済状況の中、国の緊急経済対策をもとに試作品開発事業に取り組む中小企業を積極的に支援することにより、新技術の開発や基盤的技術の高度化を通じて、新製品の開発を支援してきました。
- ・ 産学官による燃料電池の電気特性評価技術の研究、高齢者向け福祉製品や鋳物・陶磁器製品の試作開発などに取り組みました。その結果、自動車部品である鋳物製ジョイント部品と鋳物製光ケーブル保護部材が製品化され、平成 22 年度には伊賀焼土鍋等の商品化も予定されています。
- ・ 県内の中小企業の技術者を対象とした基盤技術研修講座、先進技術セミナーとデザインセミナーを開催しました。基盤技術研修講座は生産技術、品質管理や試験評価技術などの基盤技術の習得を目的とし全 8 講座を開催しています。先進技術セミナーは、技術者が最新の技術情報や知識を習得することで技術開発を推進することを目的とし 3 つのセミナーを開催しています。
- ・ 県内の産業界が当面する技術上の問題を解決するために、依頼試験と研究機器の開放を実施し、企業の技術開発を支援してきました。
- ・ 県内産業の持続的な発展をめざして知識集約型産業への転換をはかるため、県内企業の技術開発力の向上に対する継続的・段階的な支援や産学官の連携を一層強化していくことが重要となっています。

- ・ 需要の低迷による厳しい経済環境下で、新製品の開発や生産技術の高度化をはかる中小企業の課題・ニーズに応じた技術開発への支援の充実や、中小企業における技術人材の育成などが求められています。

#### <平成22年度の取組方向>

県内中小企業が新産業分野に展開することや市場ニーズが拡大する分野に対応できるようにするために、産学官の連携を一層推進し、燃料電池や高齢者向け福祉製品の開発などに加えて、新たに低炭素社会に向けて必要となる工業技術の調査や研究に取り組みます。

地域ブランドの創出や独自の魅力を持つ製品開発により、中小企業を活性化するために、技術の高度化、高付加価値化、および競争力の強化につながる技術開発を推進するとともに、農商工連携や地域資源の活用による地域産業の振興について産学官連携を一層強化して取り組みます。

中小企業に対する多様な技術支援を展開するため、中部地域や全国の大学や公設試験場等とのネットワークを活用して、技術相談、依頼試験と機器開放等を実施するとともに、中小企業の技術力向上のための技術人材育成を進めます。

#### <主な事業>

##### (一部新) 新分野展開技術開発推進事業

【基本事業名：23401 新分野への展開をはかる技術開発の推進】

(第7款 商工費 第1項 商工業費 9工業試験研究費)

予算額：(21) 5,662千円 (22) 5,528千円

事業概要：産学官連携により、燃料電池部材の研究や高齢化対応福祉製品などの開発に取り組むことに加え、新たに低炭素社会に向けて必要となる工業技術の調査や研究に取り組みます。(燃料電池・太陽電池・リチウム系二次電池・熱電材料の技術探索、水なしで飲む一般薬錠剤の製剤技術の開発等)

##### (一部新) 地域産業高度化技術開発推進事業

【基本事業名：23402 地域産業を支援するための技術開発の推進】

(第7款 商工費 第1項 商工業費 9工業試験研究費)

予算額：(21) 7,888千円 (22) 7,668千円

事業概要：地域産業におけるブランド創出や生産技術・材料開発技術の高度化を促進するため、陶磁器やコンクリートの新製品開発などに加え、新たに地域資源を活用する製品開発体制を構築して、企業との共同研究などに取り組みます。(陶磁器・コンクリートの高機能化、鋳物・食品・電子回路の特性評価、地域資源活用研究会の開催等)

##### (重) 鋳造技術集積を生かした新製品開発支援事業

【基本事業名：23402 地域産業を支援するための技術開発の推進】

(第7款 商工費 第1項 商工業費 9工業試験研究費)

予算額：(21) 1,306千円 (22) 1,176千円

事業概要：北勢地域の鋳造技術集積を生かし、機械・情報・通信等の新規分野を開拓する新製品開発を技術面で支援するとともに、企業等との研究会や共同研究を実施することにより、事業化に向けた取組を進めます。(研究会の開催、共同研究による製品試作の実施)

(重) 三重のやきものフレッシュアップ事業

【基本事業名：23402 地域産業を支援するための技術開発の推進】

(第7款 商工費 第1項 商工業費 9工業試験研究費)

予算額：(21) 1,884千円 (22) 1,695千円

事業概要：県内陶磁器産業の活性化をはかるため、陶磁器製品に新たな機能を付与する技術の開発など、付加価値の高い新商品開発に取り組みます。(企業との共同研究による商品開発等)

中小企業の技術開発人材育成事業【基本事業名：23403 県内企業への技術支援の推進】

(第7款 商工費 第1項 商工業費 9工業試験研究費)

予算額：(21) 1,181千円 (22) 1,124千円

事業概要：中小企業の技術者育成を支援するために、陶磁器・鋳物分野をはじめ、電子機械、医薬食品の分野などを対象とした技術開発人材の育成に取り組みます。(基盤技術の研究講座、先進的な技術セミナーの開催)